

2016年10月21日

東京・大阪・愛知の20代～60代の主婦1500人に聞く「防犯意識と実態調査」

約半数の主婦は“無施錠”で外出

約3割は5分以上の外出でも施錠しない

スポーツの秋、行楽の秋。秋は何かと外出する機会が増えてきますが、実は、空き巣被害も秋から冬にかけて増える傾向にあります。月別窃盗侵入件数を見ると、10月は窃盗被害が一段と増えており^{※1}、また空き巣の犯行にかかる時間の多くは5分～10分^{※2}といわれています。住まいと暮らしの総合住生活企業である株式会社 LIXIL（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉）では、東京・大阪・愛知の20代～60代の主婦1,500人を対象に、防犯意識や施錠の実態についてアンケート調査を実施しました。

※1 出典＝警視庁「警視庁の統計（平成27年）」窃盗手口別認知件数

※2 出典＝都市防犯研究センター／警察庁統計資料

「防犯意識と実態調査」調査結果サマリー

- **主婦の約半数が外出時に「施錠しないことがある」と回答。**
5分以内のゴミ捨てなら鍵をかけない方が最も多く、5分以上の外出でも約3割の方が鍵をかけない！

外出時の施錠実態を見ると、「必ず施錠する」が52.3%とやや多いものの、半数近くは「施錠しないことがある」（47.7%）と答え、そのうち31.9%は「5分以上の外出」でも無施錠で外出しています。無施錠で出かけることがある主婦が、鍵をかけずに出かける範囲は、「近所のゴミ捨て場まで（5分以内程度）」が33.0%と最も多く、次いで「近くのコンビニまで（10分以内程度）」（11.3%）、「スーパーでのお買い物まで（30分以内程度）」11.0%となりました。鍵をかけずに出かける理由は「すぐ戻ってくるつもりだから」（47.3%）が最も多くなっています。

- **「愛知県」の主婦が、「無施錠で外出する時間」が一番短い（5分以内程度）！**

「無施錠で出かけることがある」と答えた主婦の「無施錠で出かける時間」をエリア別で見ると、「近所のゴミ捨て場まで（5分以内程度）」は、東京（31.3%）、大阪（26.3%）、愛知（41.4%）と、愛知県が最も多く、「無施錠で出かける時間」が3エリアの中では最も短い結果になっています。

- **普段行う防犯対策の第1位は「施錠の確認」**

主婦の62.5%は「自分の防犯意識が高い」と自任しており、防犯対策として普段行っていることは1位「施錠の確認」（64.0%）、2位「近所付き合い」（55.5%）、3位「窓を開けて寝ない」（36.3%）の順となりました。

調査方法：インターネット調査

対象エリア：東京都、大阪府、愛知県

調査対象：20代～60代の主婦1500人（各エリア500人ずつ、10歳刻みで100人ずつ）

調査実施期間：2016年9月10日（土）～9月12日（月）

調査実施機関：マイボイスコム株式会社

本件に関するお問い合わせ先

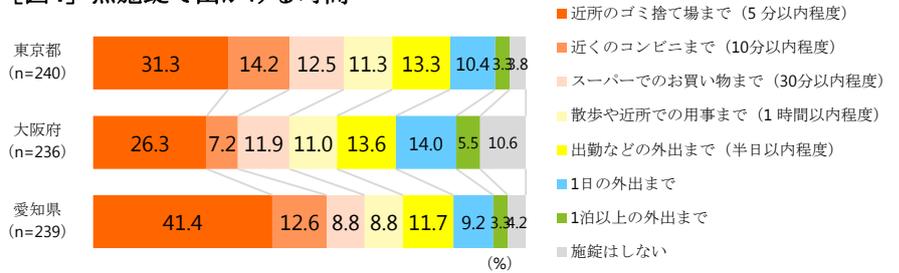
株式会社 LIXIL（<http://www.lixil.co.jp/>）※ このレターは、LIXIL ホームページ（URL: <http://www.lixil.co.jp/>）でも発表しています。

見ると、「高層階なので心配していない」（愛知県 55 歳）、「8 階で、外からの侵入は困難だと思うから」（愛知県 38 歳）のように、高層階だから侵入されないので施錠しなくても大丈夫という意見や、「換気をしたいから」（愛知県 30 歳）、「柵があるから」（大阪府 55 歳）などの意見が寄せられました。

③ エリア別施錠実態と空き巣件数 「無施錠で外出する時間」が一番短いのは愛知県

無施錠で出かけることがあると答えた主婦の無施錠で出かける時間をエリア別で見ると、愛知県の主婦は「近所のゴミ捨て場まで（5 分以内程度）」（41.4%）が最も多く、「無施錠で出かける時間」が 3 エリアの中では最も短くなっています [図 4]。

[図 4] 無施錠で出かける時間



一方、「平成 28 年警察白書」（警察庁）によると、平成 27 年の窃盗犯のうち侵入盗の認知件数は、1 位 愛知 8,157 件、2 位 東京 6,324 件、3 位 福岡 6,251 件、4 位 大阪 5,891 件の順となっています。愛知県は平成 26 年の侵入盗の認知件数でも、9,084 件でワースト 1 となっています。[参考資料 - 図 12] 愛知県は空き巣が多いという統計データがあるものの、今回の調査では、無施錠で出かける時間が大阪、東京よりも短いという結果となりました。

④ 防犯意識は高いと自任。普段の防犯対策で一番意識しているのは「施錠の確認」

自分の防犯意識について聞くと、6 割以上の主婦が防犯意識は「高い（高い+まあ高い）」（62.5%）と自任しています [図 5]。普段、防犯対策として行っていることを聞くと、「施錠の確認をおこなう」（64.0%）、「近所の人とあいさつをする」（55.5%）、「窓を開けて寝ない」（36.3%）の順となりました [図 6]。鍵をかけることを一番意識しているにもかかわらず、ゴミ捨てなどの短い外出には鍵をかけずに出かけてしまいがちのようです。

[図 5] 自分の防犯意識



[図 6] 防犯対策として行っていること



<参考資料>

行楽やスポーツなど外出の機会が増える秋は、ドアや窓を開けて自然の風を感じるのにも絶好の季節です。そんな環境を狙って増えてくるのが空き巣の被害です。公開されているデータでその実態を見てみましょう。

■秋は空き巣の季節です。秋から冬にかけて増える空き巣被害

空き巣は「侵入窃盗」のひとつで、一般住宅への侵入窃盗には居空き（いあき）や忍込み（しのびこみ）があります。空き巣は、家人の留守を狙って住宅に侵入して金品を盗むことで、侵入窃盗の中で最も多い手口です。居空きは、家人が在宅し、昼寝や食事などをしているすきに住宅に侵入して金品を盗むこと。忍込みは、家人が寝静まっている時に侵入して金品を盗むことです。いずれも家人と鉢合わせすると、強盗になって危害を加える場合があるので、十分な防犯対策が必要です。

「警視庁の統計（平成 27 年）」窃盗手口別認知件数を見ると、夏場に減少した窃盗被害が 10 月から増えていることがわかります [図 7]。気候が良くなるので窓を開けることが増え、近くまで散歩に出かけるとき、つい閉め忘れたという経験もあるのではないのでしょうか。秋は空き巣の季節と意識して、よりこまめな戸締まりを習慣づけましょう。

[図 7] 月別窃盗侵入件数



[図 7] 出典＝警視庁「警視庁の統計（平成 27 年）」窃盗手口別認知件数

■一戸建ても共同住宅も、侵入口は「窓」、侵入方法は「無締り」

次に、一般住宅の侵入窃盗の侵入場所を見ると、一戸建て住宅も共同住宅も「窓」（一戸建て 55.2% / 共同住宅 51.2%）からの侵入が最も多く、次いで玄関などの「出入口」（一戸建て 35.6% / 共同住宅 40.5%）となっています

[図 8-1] [図 8-2]。

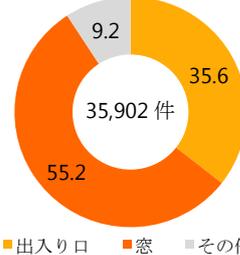
また、侵入方法は、一戸建ても共同住宅も「無締り（むじまり）」（一戸建て 46.5% / 共同住宅 43.8%）が第 1 位で、次が「ガラス破り」（一戸建て 36.9% / 共同住宅 30.7%）となっています

[図 9-1] [図 9-2]。

侵入窃盗は鍵のかかっていない窓が最も狙われやすいことから、窓の防犯対策を十分に行いましょう。

[図 8] [図 9] 出典＝警察庁「平成 26、27 年の犯罪情勢」発生場所・侵入口・侵入方法別侵入窃盗認知件数 H27

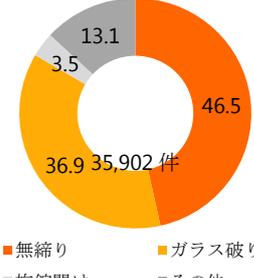
[図 8-1] 侵入場所（一戸建て）



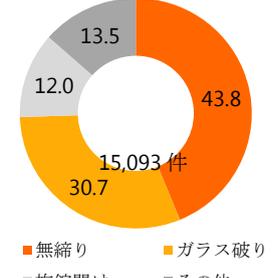
[図 8-2] 侵入場所（共同住宅）



[図 9-1] 侵入方法（一戸建て）



[図 9-2] 侵入方法（共同住宅）



■5分のゴミ出しでも空き巣は成立?! 忙しい朝時間も狙われている

侵入窃盗の発生時間を見ると、夕方から夜間にかけて増えていますが、出かける準備などで忙しい朝の「6時～8時」にも増えていきます〔図10〕。朝のゴミ出しなど、近所だからと鍵をかけずに出かけた数分で被害にあったと考えられます。

〔図10〕 出典＝警視庁「警視庁の統計（平成27年）」窃盗手口別認知件数

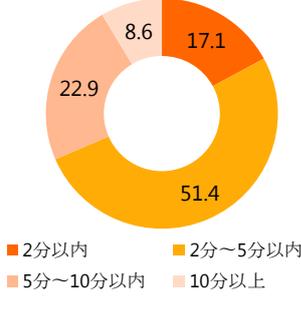
〔図10〕 時間帯別窃盗侵入件数



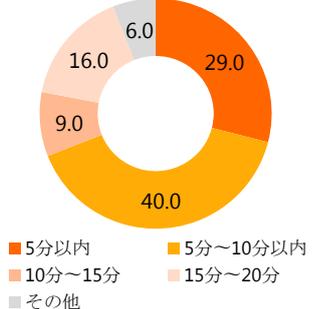
都市防犯研究センターの資料によると、侵入を諦める時間は「2分～5分以内」(51.4%)が最も多く、「2分以内」(17.1%)で諦めるケースもあります。2分で諦めるということは、2分もあれば侵入が可能ということです〔図11-1〕。また、犯行にかかる時間は「5分～10分以内」(40.0%)が最多で、「5分以内」(29.0%)も3割と少なくありません〔図11-2〕。

今回の調査では、主婦の31.9%は「5分以上の外出時にも施錠をしないことがある」と答えました。たった5分でも鍵をかけないと、窃盗被害に遭うことは十分考えられ、最悪、鉢合わせしてしまう危険性もあります。〔図11〕 出典＝都市防犯研究センター／警察庁統計資料

〔図11-1〕 侵入を諦める時間



〔図11-2〕 犯行にかかる時間



警視庁では侵入窃盗の防犯対策として、ドアや窓に補助錠をつけることや、歩くと音がするよう庭先に砂利を敷くことなどを提案しています。また、日頃からの心がけとして、ゴミ出しや買い物などの短時間の外出でも必ず戸締まりをすることや、2階の部屋や浴室・トイレの窓の施錠を呼びかけています。

空き巣の被害に遭うと、大切な財産を失ってしまうとともに、「自宅が見知らぬ者に侵入された」という精神的なショックを受けることとなります。普段から、ドアや窓に対する防犯対策や戸締まりを心掛けることが大切です。

〔図12〕 出典＝警察庁「平成28年警察白書」統計資料

■侵入窃盗から守る日頃からの心がけ

- 戸締まりは確実に
- 玄関周辺に合鍵を置かない
- 侵入の足場になるようなものは置かない
- 留守のサインとなる新聞はためない
- 日頃のご近所付き合いで「地域の目」で守る

出典＝警視庁ホームページ

〔図12〕 侵入盗の認知件数 (件)

	平成27年	平成26年
1位	愛知 8,157	愛知 9,084
2位	東京 6,324	大阪 7,145
3位	福岡 6,251	千葉 7,086
4位	大阪 5,891	東京 6,925
5位	千葉 5,615	福岡 6,711

<LIXIL 参考資料>

■ドアから、窓から 住宅への侵入を防ぐ防犯性の高い LIXIL のリフォーム商品

空き巣被害が増えるこれからの季節。特に気をつけたいのが、侵入口となる窓とドアの対策です。LIXIL のリフォーム商品なら、簡単工事で防犯性に加えて快適性も安全性も向上します。

●もっと便利に、さらに安心 家族を守る防犯効果の高い玄関ドア「リシェントⅡ」

「リシェントⅡ」は、リフォーム用の玄関ドアです。壁を壊して行う玄関ドアの交換は、5 日間ほどの工事期間が必要になりますが、「リシェントⅡ」は既存の枠の上に新しいドアを枠ごと取り付けるカバー工法を採用しているため、壁や床などを傷める心配もなく、たった 1 日で工事が完了します。ドアを閉めたまま風を取り入れる採風タイプ、日差しを取り入れる採光タイプ、地域に合わせた断熱タイプなどから選べ、ご自宅の快適性が向上します。

もちろん防犯効果も高く、不正解錠しづらいシリンダーを採用した 2 ロック構造なので、ピッキング対策にも効果的です。また、こじ破り対策に有効な鍵付デッドボルトを複数の鍵に採用し、玄関ドアとのかみ合わせを強化し、防犯性能がさらに向上しています。サムターンが取り外せるセキュリティサムターンを採用しているため、外出時や就寝時に外しておけば、玄関ドアのガラス破りでも解錠される心配がありません。リモコンやカードで簡単に鍵を開け閉めできるエントリーシステムなら、鍵のかけ忘れによる無締りを防ぐ自動施錠機能なども選べます。



●住宅用シャッター「エアリス」 心地よい風を取り入れ、ガラス破りや外からの侵入はシャットアウト

「エアリス」は、プライバシーを保護しながら、ほどよい採風・採光と日射遮蔽にこだわった住宅用の窓シャッターです。窓用シャッターを設置すると、断熱性や遮音性が向上し、冷暖房効率も高まり省エネ効果も期待できます。

もちろん防犯性も高く、ガラス破りなど外からの侵入をしっかり防ぎます。防犯の観点から窓を閉め切ると、風は入ってこなくなりますが、「エアリス」なら羽根が開閉するので、防犯しながらさわやかな風をお楽しみいただけます。さらに便利なマルチ電動なので、雨の日も風の日も、室内に居ながら開け閉めができます。



●今ある窓に“プラス”するだけの簡単リフォーム内窓「インプラスウッド」／「インプラス」

「インプラスウッド」／「インプラス」は、今ある窓の内側に窓枠をつけるだけの、施工時間 1 窓あたり約 1 時間の簡単リフォームです。

樹脂製内窓「インプラスウッド」／「インプラス」をつけるだけで、断熱効果、遮熱効果、結露軽減、防音効果もプラスされます。もちろん防犯効果も高く、二重窓となっているので視覚的に侵入しにくい家と思わせ、窓の破壊に時間がかかるので侵入をあきらめさせます。ガラス破りに強い防犯合わせガラスなどを使用すると、防犯効果はさらに高まります。

